

案件概要書

2012 年 1 月 6 日

国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第四課

1. 案件名（国名）

国名：カンボジア王国

案件名：地方上水道拡張整備計画 (Project on Additional New Water Treatment Plants for Kampong Cham and Battambang Water Works)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における上水道セクターの開発実績（現状）と課題

カンボジア王国（以下「カンボジア」という）では、内戦後、わが国及び他ドナーの支援により、首都プノンペンの上水道に対する水供給施設の整備・拡張及び運転・維持管理技術に関する支援が行われ、給水能力の拡大及び人材の能力向上が実現し、プノンペンでは、良好な経営が行われている。しかし、地方都市の給水サービスの質は依然として低く、2008 年の人口センサスによれば、プノンペンを除く都市部の世帯数全体に占める給水世帯数の割合は 33% となっている。カンボジアの国家戦略開発計画（NSDP、2009-2013）では、都市部での安全な飲料水へのアクセス率を 2015 年までに 80% まで引き上げることを目標としている中、都市給水事業を管轄する鉱工業エネルギー省（MIME）は、ドナーの支援を得てプノンペンのみならず、地方都市における上水道施設の整備を進めている。また、従来から水道局が行ってきた上水道サービスは、採算の目途が立つ都市については公社化を進めている。

本案件の対象都市であるコンポンチャム市（以下「コ」市という。市内人口約 68 千人）、バタンバン市（以下「バ」市という。市内人口約 157 千人）は、農作物の集積地となる地方の中核都市ではあるが、1960 年前後に建設された既存水道施設の容量不足（需要量の 30% 程度）と老朽化、水源の不足のため、人口増加と相まって時間給水や水質の悪化等市民生活に影響を与えている。ADB や国連により水道施設が緊急的に整備されたが、配水管網の整備が限定的であったため老朽化した水道管が引き続き使われていること、配水管網の総延長が浄水場の能力に見合っていないこと、浄水場の能力が不足していることから、両市の給水率はそれぞれ約 30%、26% に留まっている。さらに、両市の既存浄水場の水源（「コ」市は地下水、「バ」市は河川）は、乾季の水位低下のため十分な取水はできず、給水量が低下しているほか、漏水率はそれぞれ 17% と 35% に上る。よって時間給水を実施せざるを得ず、そのような状況では、両市水道局とも料金徴収が進まず経営が好転しない。以上の状況を改善するため対策が急務になっている。

(2) 当該国における上水道セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

NSDP において、安全な水へのアクセスは優先的な開発目標の一つと位置づけられている。また、「上水と衛生に関する国家政策（2003 年）」において、各州の都市給水強化を行なう方針が記されている。本事業の早期実施の必要性は高い。

(3) 上水道セクターに対する我が国の援助方針と実績

「対カンボジア国別援助計画」の中で、都市給水は「社会経済開発のための基盤整備」の重要な課題の 1 つとして取り上げられている。また、都市給水は、「都市基本インフラ整備プログラム」の中に位置づけられる。これまでわが国による地方都市給水分野の協力は以下の通り。

- ・ 開発調査「シェムリアップ市上水道整備計画調査」（1996-2000）
- ・ 無償資金協力「シムリアップ市上水道整備計画」（2004-2005）、「地方州都における配水管改修及び拡張計画」（2010-）
- ・ 技術協力プロジェクト「水道事業人材育成プロジェクトフェーズ 2」（2007-2011）

(4) 他の援助機関の対応

地方都市給水においては、わが国、世銀、アジア開発銀行が協力を実施しており、現地において、連絡を取りつつ分担と連携を行っている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業により、「コ」市及び「バ」市における都市水道による給水率が向上することにより、両市の住民の都市生活環境が向上する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

「コ」市及び「バ」市

(3) 事業概要

ア. 土木工事、調達機器等の内容

(ア)「コ」市：20,000 立方 m/日を給水するため、①水源の開発（地下水もしくは表流水）、②取水施設・浄水場の建設、③配水管網の更新・拡張（計 60km）、④配水管理システム、水質分析機器等の調達

(イ)「バ」市：30,000 立方 m/日を給水するため、①水源の開発（表流水）、②取水施設・浄水場の建設、③配水管網の更新・拡張（計 80km）、④配水管理システム、水質分析機器等の調達

イ. コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：ソフトコンポーネントとして浄水場の運転・維持管理指導を要請。協力準備調査により確認。

(4) 事業実施体制

事業実施機関：MIME 水道部及び両市水道局

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断されるため。

2) 貧困削減促進等：貧困層を含む都市住民の安全な水へのアクセスの向上に寄与する。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

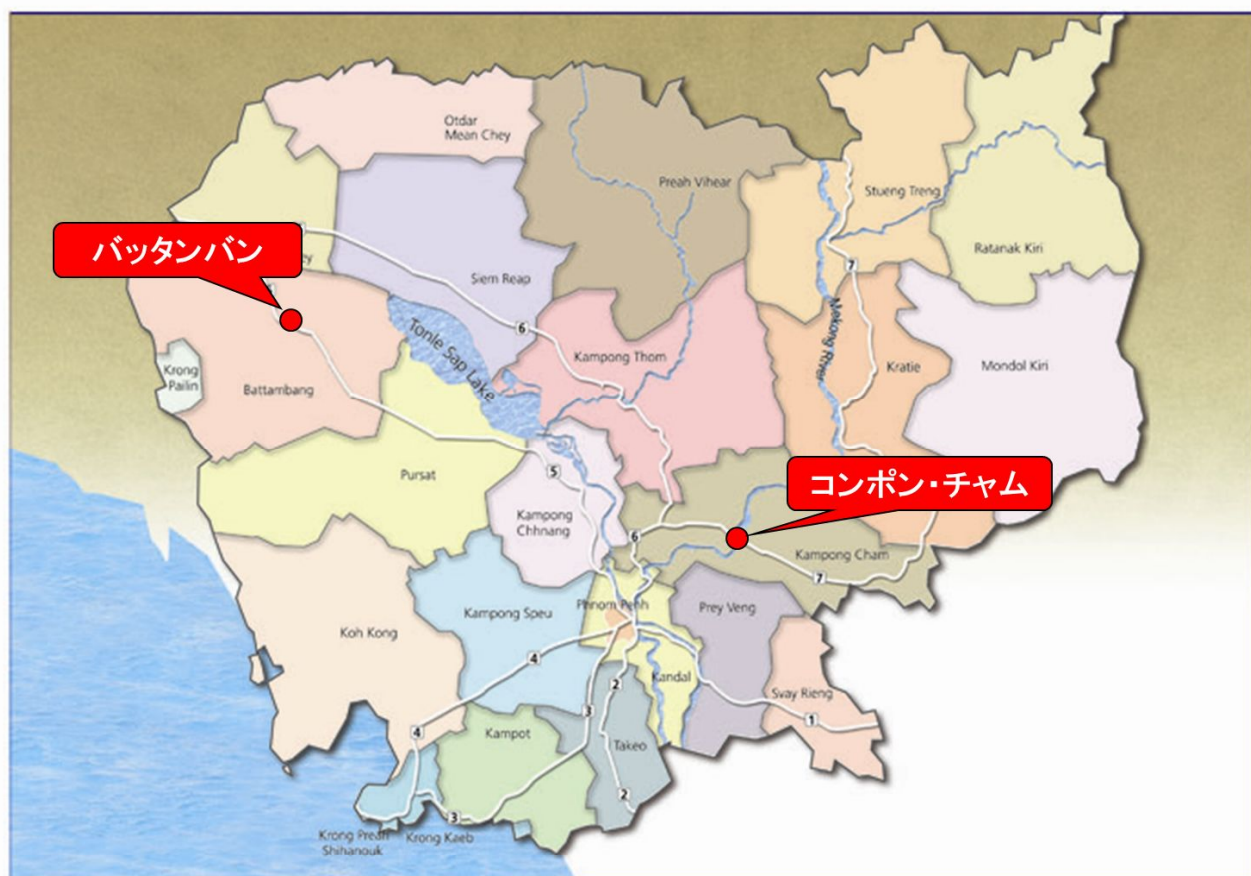
過去の類似案件の評価では、実施機関の能力を把握すると同時に、事業拡大に伴い必要となる能力を予測し、必要な場合は、既存技術協力やソフトコンポーネントを活用することが望ましいとの提言が得られている。

(2) 本事業への教訓

本案件においても技術協力及び要すれば経営や組織強化に関わる協力を組み合わせて実施することも検討する。

以 上

[別添資料] プロジェクト対象地域位置図



プロジェクト位置図